

# 第3回食品衛生管理の国際標準化 に関する検討会 牛乳・乳製品

藤原真一郎

一般社団法人日本乳業協会

平成28年5月23日

1

# 一般社団法人日本乳業協会とは？

- 2000年3月 全国の乳業メーカーをまとめる業界団体、厚生労働省と農林水産省共管団体として設立
- 2011年4月 一般社団法人となる

## 全国の乳業会社の団体

正会員(20社+44都道府県協会+3団体)67会員、賛助会員(89社)

### 設立の目的

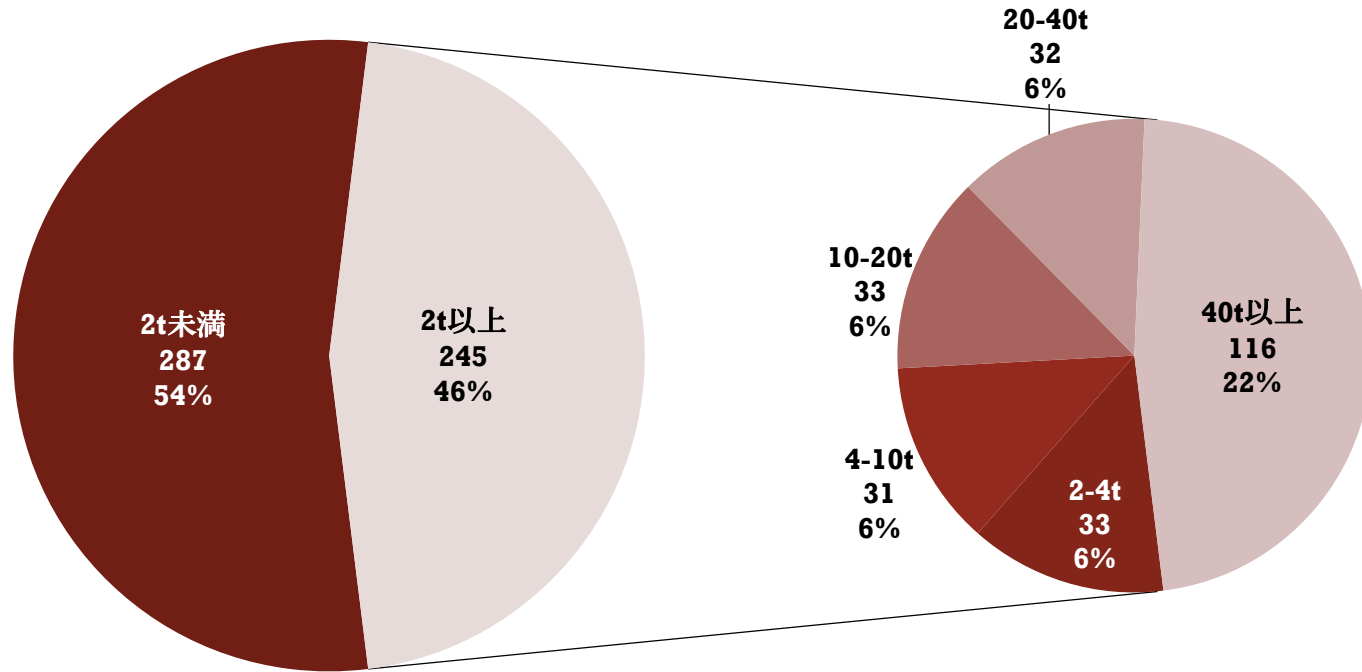
- ☆酪農・乳業事業の発展
- ☆牛乳及び乳製品の衛生及び品質の向上
- ☆牛乳・乳製品の正しい知識の普及
- ☆国民健康の向上に資すること

# 事業の概要

- 乳業事業の改善及び合理化の推進に関する事業
- 牛乳・乳製品の衛生及び品質の向上に関する事業
- 乳業事業の環境対策に関する事業
- 牛乳・乳製品に関する知識の普及及び消費の拡大に関する事業
- 乳業、牛乳・乳製品に関する調査、研究及び情報の提供に関する事業

# 乳業工場の数と規模

1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場数（生乳を処理しない乳製品工場を除く）



（農林水産省牛乳乳製品統計：平成27年12月）

	計	2t未満	2～4t	4～10t	10～20t	20～40t	40t以上	生乳を処理しない乳製品工場
平成27年	588	287	33	31	33	32	116	56
(%)	100.0	48.8	5.6	5.3	5.6	5.4	19.7	9.5

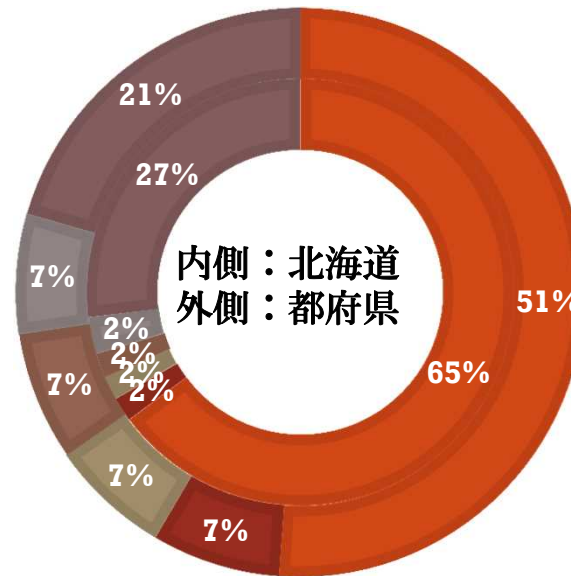
# 生乳の生産と処理(北海道・都府県)

## 生乳生産量の年度推移(万トン)

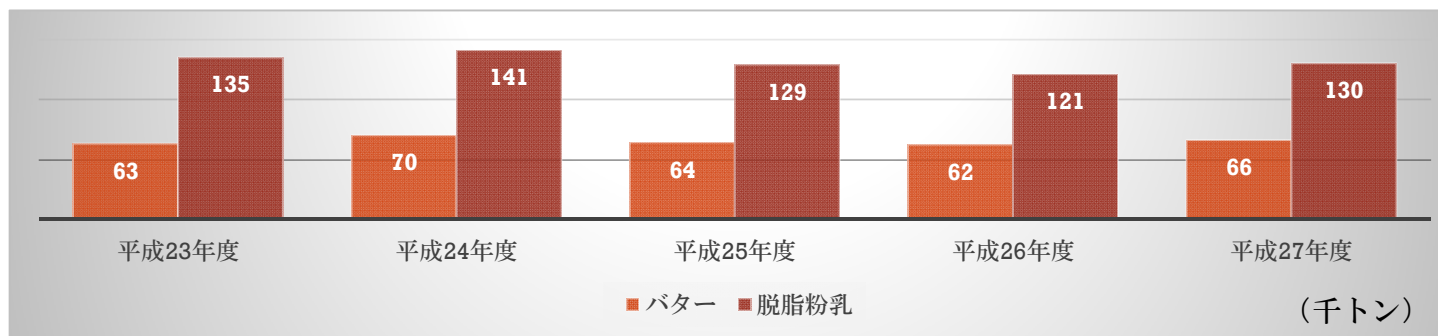
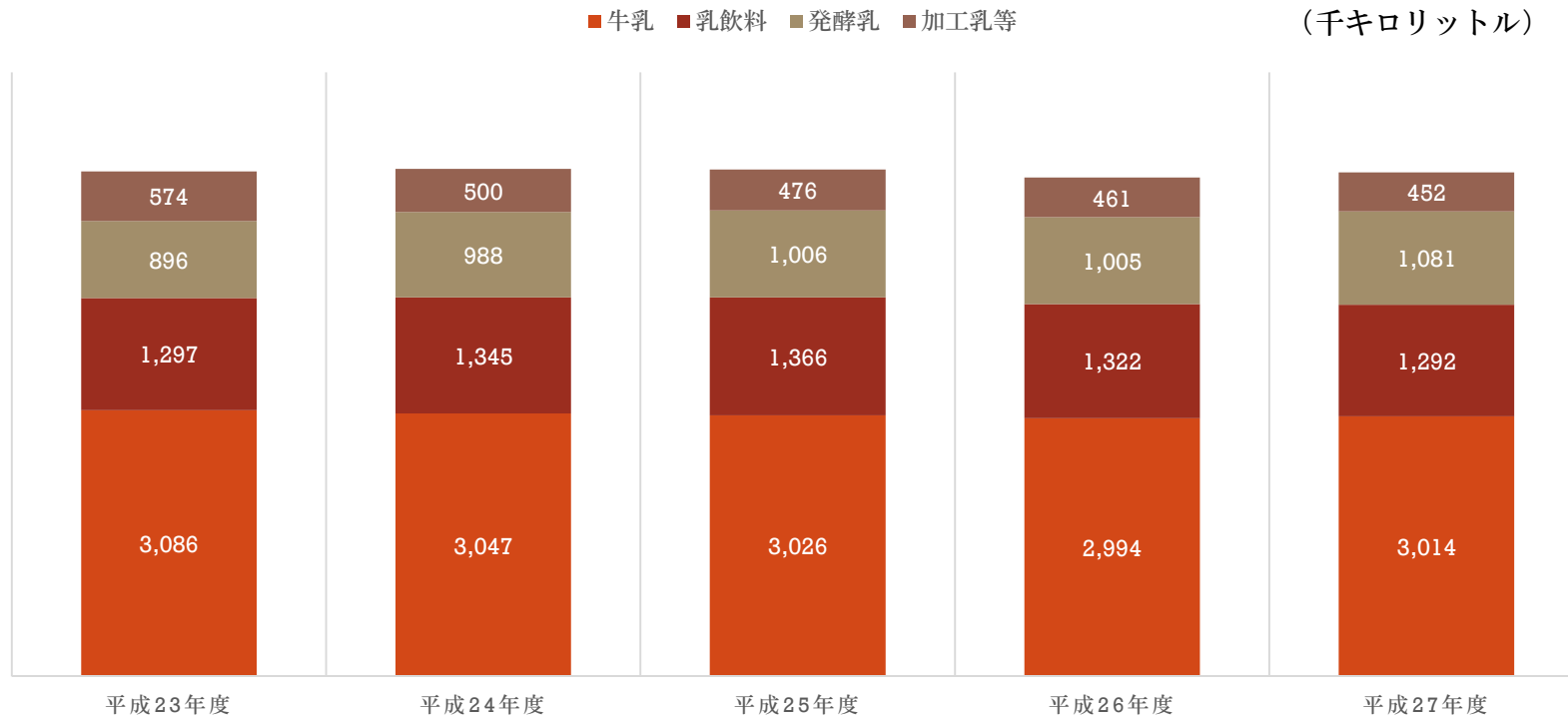
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全国	753	761	745	733	741
北海道	389	393	385	382	390
都府県	364	368	360	351	351

## 地域別処理量規模別工場数と割合

■ 2t未満 ■ 2～4 t ■ 4～10t ■ 10～20t ■ 20～40t ■ 40t以上



# 牛乳・乳製品の生産量の推移



# 食品安全上優先度が高い課題

- 生乳等の安全確保、衛生管理
  - 乳牛、飼料、生産環境からの病原微生物の汚染、有害物質の混入等
  - 適切な飼養管理、搾乳時の衛生的な取扱い
- 生乳等の保管、輸送時の衛生的な取扱い
- 製造工程における衛生管理の徹底、確実な殺菌等の実施
- 製品の保管、流通販売時の衛生的な取扱い

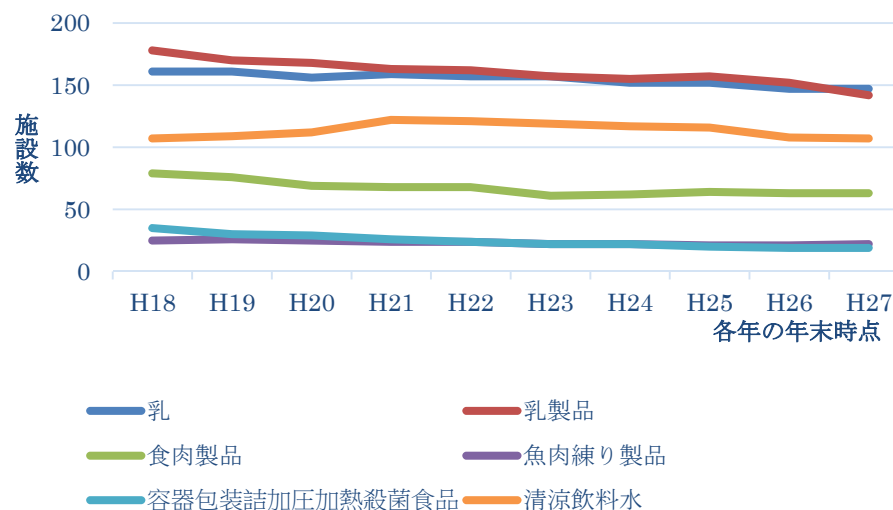
- 総合衛生管理製造過程の承認状況について、平成28年3月末現在の厚生労働省発表資料によると承認された施設は合計495、品目の件数は718。
- 施設数、件数とも乳及び乳製品が承認全体の約6割弱を占めている。

	乳	乳製品	食肉製品	魚肉練り製品	容器包装詰加圧加熱殺菌食品	清涼飲料水	合計
施設数	146	140	63	22	18	106	495
件数	214	190	111	25	20	158	718

(平成28年3月31日現在)

## ■ 承認施設数の推移

総合衛生管理製造過程の承認施設数





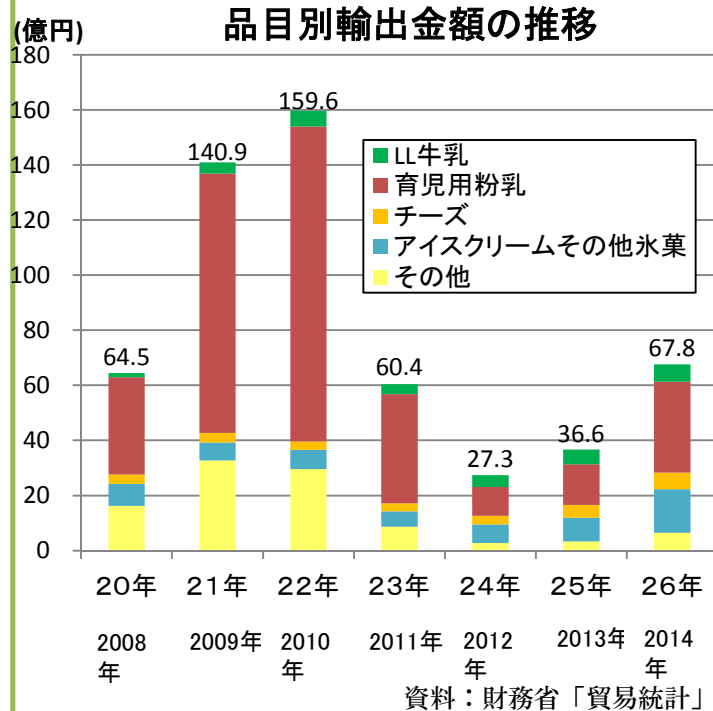
# HACCP講習会の実施、受講者数

	HACCP専門家養成講習会 (3日)	HACCP導入型基準講習会 (1日)
平成23年度	73	-
平成24年度	130	-
平成25年度	148	-
平成26年度	-	62
平成27年度	60	45
計	411	107

# 牛乳・乳製品の輸出戦略

## 輸出の現状

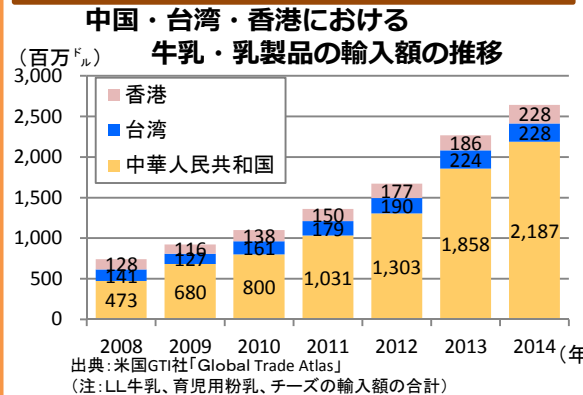
- 近年、牛乳・乳製品の輸出は、香港・台湾など、近隣諸国等向けが増加傾向で推移しており、2014年の輸出額は68億円
- しかし、口蹄疫（2010年）や原発事故（2011年）に伴い、各国・地域の輸入規制措置や安全性への信頼低下等から、輸出額は大幅に減少



- 輸出品の大半は、大手又は中堅乳業（及びそれらの子会社）による製品であり、企業体力の問題等から小規模な乳業による輸出の取組は低調

## 分析

- 急増するアジアの牛乳・乳製品需要を取り込めれば、国内の酪農・乳業の発展のチャンス
- 輸出する乳製品の戦略的な検討が必要
  - ・チーズ等、付加価値の高い乳製品
  - ・アジア市場との近さを活かしたフレッシュな乳製品
  - ・「日本ブランド」を活かせる乳製品等
- 中小乳業に対して販路の確保等の初期の事業展開への支援が必要



## 課題

- 輸入規制（原発事故、口蹄疫）への対応・協議の加速化が必要
- 低下した信頼やブランドイメージの回復が必要

## 2020年目標と対応方向

- 輸出額目標：**140億円**
- 【新興市場】 ベトナム、マレーシア、シンガポール
- 【有望市場】 香港、台湾、中国

## 具体的な輸出拡大対策

- 牛乳・乳製品の輸出について、乳業メーカー（特に中小乳業）の理解を啓発
- 意欲のある乳業メーカーに対して、商談会への参加やマーケティング活動など、輸出の取組を支援
- 特にチーズについては、チーズ工房等における情報交換等を推進
- 日本製品の信頼やブランドイメージの回復に向け、主要な輸出先国・地域において安全性や品質等の情報を発信

## 輸出環境整備

- 輸入規制の撤廃・緩和に向け科学的根拠を示しつつ協議を推進

牛乳乳製品輸出準備分科会資料